

# 千葉市幕張新都心地域の総合事業について（バス輸送力の強化）

計画事業

## 現況及び課題

- 研究開発、学術・教育機能、コンベンション施設が集積する「幕張新都心地区」を「千葉都心地区」、「蘇我特定地区」と合わせて「三都心」として位置づけており、その特徴を活かしたまちづくりを進めている。
- 幕張新都心地区におけるバス輸送については、運行開始（昭和60年）以来増加し続ける利用者に対応するため、平成10年12月は連節バスの運行が開始された。
- 今後も幕張新都心地区の就業人口の増加が見込まれることから、輸送力の維持、利用者利便の向上が求められている。

## 活性化の目標・方向性

- 幕張新都心の基幹交通として、引き続き連節バスでの輸送が必要であり、当該路線の「速達性・利便性向上」、「輸送能力の向上・強化」、「環境負荷の軽減」を図る。

## 実施する事業の内容

- ICカードシステムの追加導入（平成21年度～平成22年度）
    - ◆現金乗降客とICカード乗降客の2列同時乗降の実施による速達性・利便性の向上
  - バスロケーションシステムの導入（平成21年度～平成22年度）
    - ◆バス利用者の利便性の向上
  - 鉄道運行情報（京成千葉線、JR総武線、JR京葉線）のバス利用者への提供（平成21年度～平成22年度）
    - ◆バス利用者の利便性の向上
  - 連節バス車両の更新（平成21年度～平成22年度）
    - ◆大量輸送の確保及び混雑緩和
    - ◆バス輸送能力の向上・強化及び環境負荷の軽減
- など

# 千葉市幕張新都心 : 総合事業の実施区域



JR総武線・京成千葉線

JR京葉線

